

**平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
体験活動推進員養成講座**

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

体験活動の重要性について理解を深めるとともに、地域の青少年への普及を推進する「体験活動推進員」を養成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

平成30年7月5日（木） 9時20分～12時30分

(2) 参加者

① 募集対象・人数

学校支援地域本部・放課後子どもプラン・家庭教育支援・土曜日の教育支援活動等の関係者（コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーター、放課後児童指導員、行政職員など）・本講座に関心のある方 30人

② 参加者

21人

(3) 会場

津山市役所こども保健部こども課

(4) 講師

講座①「青少年の現状と課題について」

講師：高藤 佳明（国立吉備青少年自然の家 所長）

講座②「体験活動の安全について」

講師：西山 一之進（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

講座③「青少年の体験活動について」

講師：瀧田 正宏（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

(5) 企画・運営のポイント

① 県全体を対象としているが、県内を4つのグループに分け、今年度は県北部の津山市を中心に、ニーズを取り入れた内容にした。

② 講座の実施にあたり、津山市こども保健部こども課と連携を図り、参加者の募集や会場の提供などで協力いただいた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

7月5日（木）	
9:20	開会式
9:30	講座①「青少年の現状と課題について」
10:30	講座②「体験活動の安全について」
11:30	講座③「青少年の体験活動について」
12:30	閉会式
13:30	【希望者を対象】「仲間作りの遊びやゲームについて」
15:00	終了

(2) 活動状況



【講座②体験活動の安全について】



【講座③青少年の体験活動について】



【仲間づくりの遊びやゲームについて】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 子育て支援をしている中で、全国と津山の対比など、自分の知らなかった情報を教えていただき参考になった。幅広い視野を持つ必要性を感じた。
- ② 子供のころの体験は、豊かな人生の基盤となると思った。
- ③ 子供たちの体験の場が少しずつ減ってきている中で、どういうふうに子供たちへ、その場が提供できるのかを考えました。

(3) 成果

参加者は、子供たちと携わっている日頃の活動場所や内容を、講義の内容と照らし合わせながら考えることができ、体験活動の重要性や安全面、これからの指導に生かせる内容となった。

(4) 今後の課題

昨年度より参加者は増えたが、「体験活動推進員」の登録は少なかった。「体験活動推進員」の重要性や大切さを伝えていきたい。

担当:企画指導専門職 西山 一之進